

高粱知るぶふれ



知るぶふれは、高粱を知ることと「シルブプレ」(フランス語で「失礼します」)をかけ合わせた言葉です。

エド

「ポップ・ロック」という屋内ボルダリング施設を自作。ロッククライミングに興味のある人たちに練習場所を提供しています。何事にも好奇心のある私は、初めてのボルダリングに挑戦しまし



る登山ルートを開拓。また、自分たちのコミュニティの未来にも心向け、地域を賑わすための計画にも開拓者精神が溢れています。ふるさと備中町の可能性に挑戦し続ける杉田さんです。

市の国際交流員(CIR)である私エドゥアール・ブレナが、地域のためにイニシアチブ(先導、主導の意)を発揮している人に話を聞いていくこのコーナー。初回は、備中町のクライマー、杉田守二さんを訪問しました。

杉田さんは30代後半に趣味としてロッククライミングを始めました。以来、クライミングへの情熱と創作力を生かし、自宅の倉庫にポップアートからヒントを得た色彩豊かな「ポップ・ロック」として

たが、すぐにその面白さの一端にふれました。目まがいするような高い岩山に登っている杉田さんの写真を拝見しましたが、そのすごさがよく理解できました。杉田さんは「達成感を得るためなら恐怖を克服できるようになる」と話しています。これは他の分野においても教訓になると私は思いました。



備中町長屋のボルダリング施設「ポップ・ロック」は、アート好きな杉田さん(写真左)の想像力が溢れる空間。



「クライミング競技が、4年後の東京オリンピック正式種目に決まったことで、クライミングが広まっていくことを期待しています」と杉田さん。

キラキラきらめく⑨

飯芽 久美子さん

いいが くみこ 29歳 川上町領家

川上町生まれ、川上町育ち。「家族のみんなが大好き」という久美子さんは、お母さんがいないと泣いてばかりいた子どもだったそう。

地元企業の備北バス(株)観光課での仕事は、プライベートでも旅行が大好きな久美子さんにピッタリ。「いろんな人にお会いできて、楽しいだけでなく、すごく良い経験になっていると感じる。お客さんからの『ありがとう』が本当に嬉しい」と話します。

高粱市について、「人が優しく、町の人たちとの身内のような距離感が良くて、地域に育てられている感じがする。とても住みやすい」と大のお気に入りの様子。そして、「ずっと高粱に住んでいきたいので、できたら市内の人と結婚したいです」と笑いました。

